



吉川 慶一 議員

質問 マイナンバー制度について

マイナンバー制度で何がかわるか。この12桁の個人番号はどのような時に必要で、どこで使用するのか。また、個人番号カードは、どのように利用するのか。個人情報を守れるのか。

▼市長答弁

個人番号は、来年以降、税や社会保障関係の申請や届出などで使用することになり、市民の利便性が向上するとともに、行政の効率化を図ることができる。また、個人番号カードは、確定申告書の電子申請や公的な身分証明書として利用できるため、今後も、市民の皆様の理解が進むよう、広報や出前講座などにより、一層の周知を図っていく。

個人情報の保護のため、各機関・団体と市町村等は、専用回線で暗号化した情報のやりとりを行うなど、二重、三重の対策を講じている。

質問 住宅用火災警報器の普及について

各家庭に設置された住宅用火災警報器のその後の検証について、この10年での一般家庭の火災警報器設置普及率はどのくらいか。また、設置されたことによって火災は減少したのか。10年経過した警報器の点検と保守管理はどのように指導していくのか伺う。

▼市長答弁

平成27年6月現在、82%となっており、設置義務を有する住宅での火災は、本年は発生していない。また、火災を未然に防いだ件数として把握しているのは9件である。

点検と保守管理については、市内の販売店に対し周知を依頼しており、市民に対しては回覧板、チラシの配布等を予定している。

その他質問項目

- 新たな農業・農村政策改革後の取り組みについて



保坂 悟 議員

質問 糸魚川ジオパークについて

ジオパーク戦略プランについて、世界ジオパークの認定を活かした取り組みの成果、新幹線開業前後の戦略効果、ジオサイトのある地域の活性化と継続性、宿泊・飲食・インバウンド等の観光産業の振興状況はどうか。

▼市長答弁

世界ジオパークの認定以後、フォッサマグナミュージアムの入館者数は1.5倍となっており、本年度は、新幹線開業やリニューアルの効果などもあり、既に9万人を超える入館者数となっている。また、小滝地区などではジオサイトの保全活動とともにジオパークを活かした地域活性化のイベントなどを継続的に実施いただいている。

市内12の温泉旅館では、9月末時点で昨年の宿泊数

を上回っており、駅周辺においては、ランチの提供や日曜営業を行う店舗も増加している。また、インバウンド観光客についても、民間による誘客活動の成果が徐々に上がってきており、増加傾向にある。今後も連携しながら、受入態勢の整備を進めていく。

質問 子育て支援について

経済的貧困家庭の子ども支援、アダルトチルドレン※の実態調査と支援、虐待・育児放棄・暴力のある家庭への支援についてはどうか。

▼教育長答弁

経済的貧困家庭については、児童扶養手当の支給や保育料の軽減、就学援助制度による学用品等購入費の一部助成を実施している。アダルトチルドレンについては、実態調査は実施しないが、機能不全家庭で育ったことにより大人になっても生きづらいという悩みを抱えている方には、関係機関と連携し相談や支援に努めている。また、こども課を相談の窓口とし、児童相談所や警察、医療機関等と連携し、子どもと保護者への支援を行っている。

その他質問項目

- 高齢者と障がい者の支援について
- 特色ある(稼ぐ)まちづくりについて

※ アダルトチルドレン… 親の虐待、不仲、感情抑圧などによる機能不全の家庭で育ち、外傷体験を持った大人。親の問題の責任を負おうとする、自己評価が低い、親密な関係が苦手などの特徴が指摘され、適応上の困難を持ちやすい。